

連合三多摩 地球温暖化防止に向けたCO2削減の取り組み

～ わたしたちが地域でやること、できること ～

三多摩エコニュース



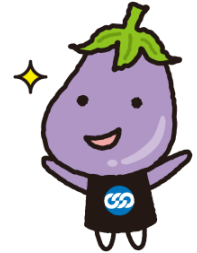
連合エコライフ 21 ココちゃん

VOL. 127



2021 基本要 作成進行中！

環境政策の現状を振り返ろう！



現在、連合三多摩ブロック地協では、2021 政策基本要を政策 PT のメンバーを中心に作成を進めています。今月号のエコニュースでは、昨年、2020 基本要に対する三多摩地域 30 自治体からの環境政策の回答から傾向をとりまとめてご紹介します。連合三多摩ブロック地協は引き続き、エコ活動の促進、「連合東京の森」活動、三多摩メーデーにおける「農ある暮らし」展を通じて、環境への取り組みを進めてまいります。

2020 基本要における、環境政策の現状

1. 地球温暖化対策

- ・温室効果ガスの 30%削減に向けて
- ・環境にやさしい自動車や LED への切り替え、省エネ住宅等の積極的な利用
- ・猛暑対策としての緑化推進

→温暖化対策、CO2 削減計画は進み、一定の前身が確認でき、公用車における電気自動車の導入、太陽光発電の設置、LED 化の取り組みも広く一般化してきました。

2. 資源循環型社会の実現に向けて

- ・3R の取り組み推進と目標に対する成果の公表
- ・水資源の節約、有効利用推進

→水環境は、自治体の自然環境の違いで取り組みに差がありますが、雨水の敷地内処理や水循環政策が進む自治体が見られるようになりました。

3. 緑地・農地・山林保全の取り組みについて

- ・水と緑を守る農業、林業の後継者育成支援
- ・花粉の少ない森づくり運動の推進
- ・森林・里山保全対策
- ・多摩産材の普及促進

→緑地や森林保全に関する取り組みは、程度の差がありますが広くみられるようになりました。多摩産材の活用促進は、30自治体中9自治体で取り組みが進んでいます。また、三多摩メーデー「農ある暮らし」への参画は21自治体まで広がっています。

4. 新エネルギーの普及について

- ・新エネルギーシステムの導入普及
- ・環境対策に関連した研究支援

→再生エネルギーの促進は、ばらつきがあり、推進をしている自治体では、木質バイオマス・再生可能エネルギー等の促進が見られます。

5. 啓発活動・環境活動について

- ・住民との各種環境活動への取り組み
- ・小中高等学校等における環境学習
- ・放射能測定、食品ロスの課題に向けた取り組み

→放射能測定は多くの自治体で実施がされ、食育、食品ロス、フードドライブは全体的な取り組みへと広がってきました。

(事務局) 連合東京三多摩ブロック地域協議会

〒190-0012 立川市曙町 2-15-20 三多摩労働会館 5 F

TEL 042-529-5550

FAX 042-529-5552